

子どもと家族の笑顔サポートチーム
ひまわり

for every child's smile
すべての子ども達の笑顔のために

お子さんの笑顔を守るために、日々活動を行っています。
お子さんを笑顔にするには、ご両親の笑顔が不可欠です。
入院生活中、悩みや不安、心配事がたくさんあると思います。
その悩みを少しでも軽減できるような活動を行っています。
医師・看護師だけでなく、様々な職種で相談を行い、患者さん・ご家族の方がより良く過ごせるよう支援を行っています。
どんなことでもお気軽にご相談ください。

【相談内容】

- きょうだいのこと
例：家にいるきょうだいのが心配（学校の事、生活の事など）
- 食事のこと
例：食事形態の変更（学食食→アシスト食）、食べやすい大ききへカット、ジュースやゼリーへの付加、ステロイドによる食欲増進 など
- 病気のこと
例：気になる症状、周りの人にどうやって病気のことを伝えたいか
- 治療のこと
例：抗がん剤治療の副作用（口内炎、下痢、悪心・嘔吐、食欲低下、精神症状など）
- リハビリのこと
例：縄跳びが飛べるようにしたい、ボール遊びを取り入れてほしい

岐阜市民病院 緩和ケアチーム



小児緩和ケアチーム（子どもと家族の笑顔サポートチームひまわり）

当院小児科では年間20人程の小児がん患者さんが入院します。治療により半年以上の長期入院が必要となることも多く、大半を小児血液疾患センター内で過ごします。センター内にはプレイルームが設置されており、子ども達が楽しむ環境が整えられています。また、七夕会やクリスマス会などのイベントを行い、入院生活を少しでも楽しく過ごせるよう工夫がされています。しかし、治療に伴う副作用や長期入院による精神的ストレスは蓄積していきます。そのため、当院では成人患者さん同様に小児患者さんにも緩和ケアの提供が必要と考え、平成27年

小児緩和ケアチームを ご存じですか

- ◆小児緩和ケアチームをご存じですか …P 1
- ◆特集：心臓の病気シリーズ① …P 2
- ◆心臓血管ドックのご案内 …P 3
- ◆新任部長のご紹介 …P 4

8月より小児緩和ケアチーム（子どもと家族の笑顔サポートチーム ひまわり）の活動を開始しました。メンバーは、小児科医、看護師、薬剤師、理学療法士、臨床心理士の多職種で構成されています。また、それぞれの専門分野の観点から、入院しているお子さんと親御さんへの支援を行っています。がんだけではなく、非がんの患者さんにも介入を行っています。主な活動は、週1回チームでの回診を行い、困っていること、不安なこと、心配事などをお子さんや親御さんからお聞きし、少しでも困り事が解決できるような病棟スタッフと情報共有し対応を行なっています。

小児血液疾患センターには15歳以上のAYA世代（15歳～39歳までの思春期から若年成人のことをいいます）の患者さんが入院することがあり、個性を持った対応が必要となります。同世代の子と話がしてみたいというニーズに合わせるため、AYA世代だけの座談会やゲームを一緒に楽しむ会を企画しています。そして、今年5月にはAYAサポートチームを結成し、AYA世代への支援が充実できるよう現在体制を整えています。

長期入院によるストレスや抗がん剤治療などつらい時期もありますが、少しでも楽しく笑顔でそのお子さんらしく過ごせるために日々活動を行っています。少しでも皆さんのお力になれるよう、今後も尽力していきます。

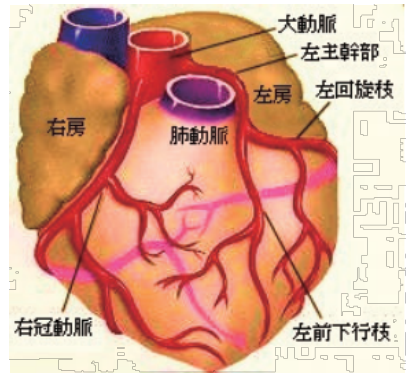


図1 心臓の血管；冠動脈

特集…心臓の病氣シリーズ①
動くと胸が痛くなる病氣
狭心症(きょうしんしょう)／
狭心症(きょうしんしょう)って、何？
 第一内科部長(循環器内科)
 岐阜大学医学部客員臨床系医学教授
 西垣 和彦

狭心症(きょうしんしょう)って、何？
 心臓は全身に栄養を含んだ血液を送るポンプですが、心臓自身にも冠動脈(かんどうみやく)という血管で血液が供給されています(図1)。この冠動脈が動脈硬化で細くなり、心臓の筋肉(心筋)に栄養が不足し、動くと胸が痛くなるのが狭心症、ついに冠動脈が詰まり栄養が行かないため心筋が死んでしまうのが心筋梗塞(しんきんこうそく)です。これらを併せて、虚血性心疾患(きょけつせいしんじつかん)あるいは冠動脈硬化症(かんどうみやくこうじょう)と呼びます。虚血性

心疾患は一旦発症すると短時間で死に至る可能性があり、生命にかかわる病気で非常に重症です。したがって、なるべく早く検査・治療をすべきです。

狭心症や心筋梗塞の症状は特徴的です。運動などで急に、あごから胸の真ん中の、場所がどこかわからない広い範囲に、圧迫されるような、押さえられるような、グツとつかまれるような痛みが起こり、時には左肩や背中まで痛くなります。狭心症の症状の持続時間は数分から長くても10分程度で、安静にしているとすーっと症状が消えていきます。15分をこえる痛みが続くときは心筋梗塞を疑います。しかし、数時間以上続く時や非常に短時間の症状の場合は、心臓以外が原因であることが多いのですが、念のための検査が必要です。

狭心症の検査って、何やるの？

虚血性心疾患の検査は、血液検査や胸部レントゲン写真などの他に、運動前後に心電図を録り比較する運動負荷心電図や心筋に取り込まれるようなアイソトープという薬剤を注射して心筋の取り込み具合を調べる心筋シンチがあります。しかし、最近ではCTで冠動脈を造影する冠動脈3D-CTアンギオという外来で非常に短時間でできる検査が主流です(図2)。

虚血性心疾患が疑われた時や急性心筋梗塞の場合、心臓カテーテル検査を行います。

これは、手首を局所麻酔して、その動脈からカテーテルと呼ばれる細い管を入れて冠動脈の入り口まで通し、直接的に造影剤を使って造影するものです。冠動脈が細くなっていれば細く写り、詰まっていれば詰まっているように写ります。この検査で、冠動脈の狭い場所や閉塞した場所が明らかになり、風船療法(PCI)や外科的な冠動脈バイパス手術(CABG)が必要かを検討し、冠動脈病変に対する適切な治療戦略を立てます。

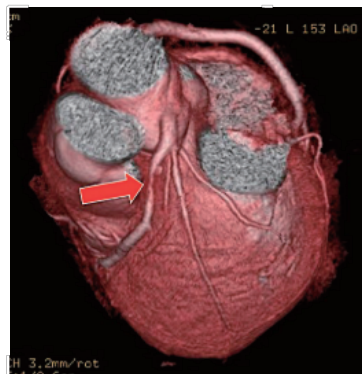


図2 冠動脈3D-CTアンギオ

風船療法(PCI)って、何？

風船療法は、小さな風船を使って細くなった冠動脈を拡げたり、冠動脈の狭くなった病変にステントという金属を留置したりする治療です(図3)。数日の入院を要しますが、局所麻酔で

できるため、身体への侵襲の少ない確立した治療法です。手首の動脈や足の付け根の動脈から、カテーテルを冠動脈の入り口まで通し、そこからガイドワイヤーと呼ばれる細い軟らかい針金を冠動脈の病変の先まで挿入して、それに沿って風船を冠動脈の病変に置いて膨らませます。多くの場合、この後に再び冠動脈が狭くならないように、お薬を塗ったステントという金属を病変部に留置します。この風船療法には高度の技術が必要としますが、当院では教育施設でもあることから専門医・指導医が十分な指導の下に行っています。幸いにも、これまでこの風船療法が原因で死亡に至った症例はありませんが、慎重に治療しています。

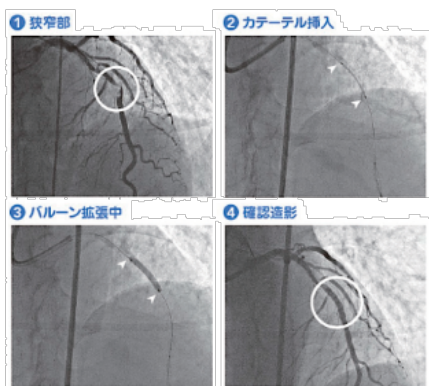


図3 風船療法

心臓血管ドックのご案内

第一内科部長(循環器内科)
岐阜大学医学部客員臨床系医学教授
西垣 和彦

当院の健康管理センターで行われている心臓血管ドックは、好評につき募集人数を大幅に拡大し、より利用しやすくなりました。

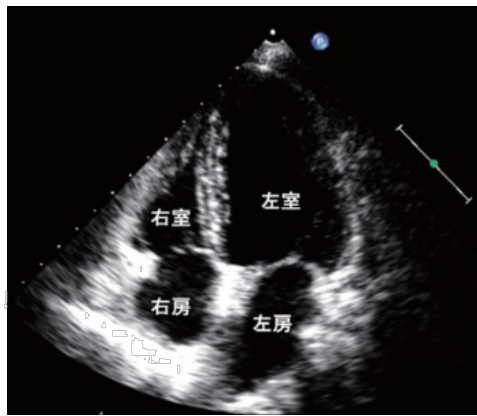
糖尿病や、血液中の悪玉コレステロールがたまって引き起こされる動脈硬化により、急に心臓の血管である冠動脈が詰まることで起きる急性心筋梗塞は、放っておくと1時間以内に6割の人が即死する恐ろしい病気です。高血圧症や肥満、糖尿病、脂質異常症など生活習慣病がある方、ご家族に心臓病のある方、軽微でも胸部に違和感や症状のある方、症状がなくてもこれまで心臓病を指摘されたことのある方、長らく喫煙をしていた方、そして節目の年齢になり自身の心臓が心配な方は、この機会にきちんと心臓の検査を受け、心臓専門医の診断を受けてみませんか？

心臓血管ドックに含まれる検査には、基本的な血液生化学的検査や心電図、胸部レントゲン写真などに加えて、心臓超音波検査(心エコー)、頸動脈超音波検査(頸動脈エコー)、血圧脈派検

査(ABI、CAVI)、冠動脈造影CT検査があります。順を追って検査の説明をいたします。

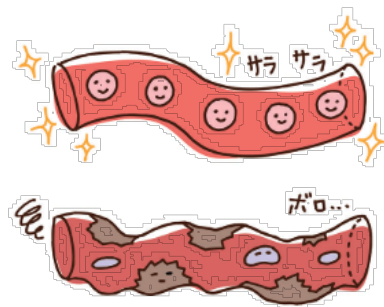
心臓超音波検査(心エコー)

小さな超音波探触子を胸や肋骨の間に軽く当てて、心臓の大きさや動き、心臓が十分に働いているかを詳細に調べることができます。心臓病の約8割〜9割はこの検査で診断がつくため、非常に有用な検査です。



頸動脈超音波検査(頸動脈エコー)

頸動脈は、直径十ミリ前後の首にある血管です。脳の動脈や全身の動脈の動脈硬化を反映するので、全身の動脈硬化の指標とされています。頸動脈を直接画像に写し、余分な脂のゴミがたまっていないか検査します。

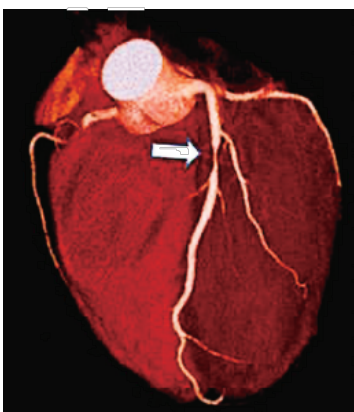


血圧脈派検査(ABI、CAVI)

血圧脈派検査は、動脈硬化・血管機能の指標で、全身の血管病の早期診断に役立ちます。ABIは、足首と手の血圧の比のことで、動脈の狭窄や閉塞を評価する指標です。手と足首の血圧を同時に測定することで血管の狭窄の程度がわかります。また、CAVIは、動脈の硬さを調べる検査で、大動脈を含む心臓から足首までの動脈硬化度が評価できます。

冠動脈造影CT検査

これまで、心臓カテーテル検査でしか分からなかった冠動脈の走行、狭窄、閉塞を、カテーテルを使用せずに造影剤を腕の静脈から注射して、CTの画像で冠動脈を評価することができます。5秒程度の息どめを3回程していただくだけです。検査時間は20〜30分と非常に短く、心臓カテーテル検査より体の負担が少ない検査です。ただし、造影剤を使用するため、腎臓の機能が悪い方、造影剤に対してアレルギーがある方、わずかながら放射線被曝を伴うため、妊娠中やその可能性がある方は受診できませんので、担当医にご相談ください。なお、冠動脈に石のように硬い石灰化がある場合や脈拍が速い方は、診断の精度が悪くなる可能性があります。



新任部長のご紹介

消化器病センター長・胆胰内科部長

岩田 圭介



2021年4月より岐阜市民病院消化器内科にて診療を担当させて頂くこととなりました。消化器内科医になつてちょうど25年になりますが、皆様へよりよい医療を提供できるよう、一層尽力する所存です。

私は消化器内科の中でも特に膵臓、胆嚢、胆管領域の疾患を専門としておりますので、これらの疾患の最近の動向について、少しご紹介したいと思っております。

膵管や胆管の結石によって治療を必要とする場合、内視鏡を用いた治療が多く行われておりますが、最近では超音波内視鏡、細径の胆道鏡、小腸内視鏡などを組み合わせることによって、以前は治療困難とされていた方においても内科的に結石治療が完遂できるよ

うになってきております。

また腫瘍や炎症による膵管や胆管の狭窄のために治療を必要とする患者さんも多くおられますが、ステントという筒状の治療器具を使用して、できる限り低侵襲な治療を行うように努めております。

内科的に治療が難しい場合には、当院の外科や放射線科の先生方とも協力して、患者さんに最も適した治療法を提案させて頂きます。

膵癌と胆道癌の治療が大きな課題となっておりますが、よりよい治療効果を得るためには、早期発見、早期治療が非常に重要です。早期発見の契機として、糖尿病の急激な悪化、膵酵素や肝胆道系酵素の上昇、超音波検査での膵管、胆管拡張などがあります。また慢性膵炎や膵嚢胞を有する方は膵癌になりやすい場合があります。このような項目にあてはまる方は、是非私どもへご相談を頂ければ幸いです。

まだまだご紹介したいことは多くありますが、紙面が限られておりますので、以上にて私の紹介と診療内容の概説とさせて頂きます。



外来診療のご案内

○診療科目…内科、糖尿病・内分泌内科、脳神経内科、呼吸器・腫瘍内科、消化器内科、血液内科、循環器内科、腎臓内科、小児科、精神科、外科、乳腺外科、整形外科、脳神経外科、呼吸器外科、心臓血管外科、皮膚科、泌尿器科、産婦人科、眼科、耳鼻いんこう科、頭頸部外科、放射線科、麻酔科、病理診断科、臨床検査科、リハビリテーション科、歯科、歯科口腔外科

○休診日

土・日・祝日と12月29日～1月3日

※詳細はホームページでも紹介しています。

市民病院ホームページ <https://gmhosp.jp/>



心温まるご声援・ご寄附をありがとうございました。

新型コロナウイルス感染症の拡大、長期化する中、市民の皆さまや企業さまより、励ましの言葉とともに多くのご支援をいただいております。ご支援いただきましたものは、当院で大切に使用させていただきます。

皆さまからの心温まるご支援に深く感謝いたします。これからも当院の理念である「心にひびく医療の実践」に、スタッフ一丸となって取り組んでまいります。



岐阜市民病院

〒500-8513 岐阜市鹿島町7丁目1番地
TEL 058-251-1101 (代表)
編集発行：岐阜市民病院 広報委員会